



第108期 株主通信

BUSINESS REPORT

2022年4月1日～2023年3月31日

証券コード:4543

アクセルを踏み込む

株主の皆様には、日頃よりテルモグループの事業活動にご理解、ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症パンデミックは、ようやく世界的に収束へ向かいつつあります。こうした中、世界の医療は着実に進化を遂げています。テルモは、今年を改革実行の1年と位置付け、全社一丸となってアクセルを踏み込んでまいります。特に、人工知能やデジタル技術、バイオ医薬や細胞・遺伝子治療などの新しい技術が医療の進化を加速させています。また、ヘルスケア業界への新規参入も相次いでおり、医療産業は活性化しています。テルモは、挑戦心をもって医療現場の課題に向き合い、新しい医療を実現すべく5カ年成長戦略「GS26」で描いた戦略の実行を加速してまいります。

当社を取り巻く環境は、インフレによる影響でエネルギーや原材料の価格が高騰し、予断を許さない状況です。テルモでは、持続的成長を支える基盤を強化するため、世界的にコスト構造の見直しを図っています。グループ内のIT基盤を統合することでグローバルオペレーションをより効率的な組織へと移行させるほか、生産においても自動化や省力化を一層進めて生産革新を実行してまいります。

また、働く人の8割以上が海外籍となったグローバル企業としてテルモは、Diversity（多様性）、Equity（公平性）、

Inclusion（包摂性）のある組織文化をさらに推進することを目指して、昨年テルモグループ共通の「DE&I フィロソフィー」を制定しました。持続的成長を実現するため、多様なアソシエイトが個々の違いを尊重し、互いに敬意をもち、一人ひとりが本来の力を発揮し合う協調的な風土を醸成してまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長CEO
佐藤慎次郎



多様な人財の活躍～DE&I[※]の取り組み

テルモでは、多様なアソシエイト(社員)の活躍が、企業の成長エンジンであると考えています。一人ひとりの個性や能力を持った人財が、さまざまな価値観を受容し、お互いの個性を認めあうことで、異なる発想・知恵が混ざり合い、新しい価値を創造する企業を目指してまいります。

※多様性、公平性、包摂性を意味するDiversity, Equity, and Inclusionの略称

DE&Iはグローバル社会に貢献する テルモの原動力

アソシエイトの行動の原点には「医療を通じて社会に貢献する」という企業理念をはじめ、コアバリューズやテルモグループ行動規範があり、これらはテルモのDE&Iの根幹となっています。現在、テルモは世界160以上の国と地域でビジネスを展開しており、海外での売上が約75%を占めています。また、テルモグループ30,000人以上のアソシエイトが国内外で働いており、DE&Iはテルモグループの経営基盤となります。昨年度からスタートした5カ年成長戦略(GS26)においても、グローバル経営の実現に向けて多様な人財の活躍を推進することを掲げています。変化する環境の中、多様な人財が活躍し新しい発想でイノベーションと価値を生み出すことで、更なる成長とグローバル社会への貢献を進めてまいります。



アソシエイトと企業の持続的な 成長の実現を目指して

グローバルにビジネスを展開するテルモでは、インクルーシブな文化・風土を醸成し、企業活動に根付かせることを目指しています。その実現の一つとして、性別、国籍、職務、役職など異なるアソシエイトから構成されるグローバルDE&Iカウンシルを発足させ、そこでの活発な議論を通じてグループ共通の「DE&Iフィロソフィー」を2022年3月に制定しました。さらに、2023年3月にはDE&Iを加速させるため、4つの重点分野を選定し、各地域の特性に応じた展開を進めています。その具体的な取り組みとして、経営層を対象としたワークショップをはじめ、毎年3月には「テルモDE&I Week」を開催し、世界各地で独自のイベントを実施しています。世界中の多様なアソシエイトが個々の違いを尊重し、互いに敬意をもち、一人ひとりが本来の力を発揮し合えるような環境を作っていくことで、アソシエイトと企業の持続的な成長を実現してまいります。

●グローバルDE&Iカウンシルメンバー



「テルモ DE&I Week」における社内イベントの様子(ベトナム)

日本[※]の主な取り組み事例

※テルモ株式会社

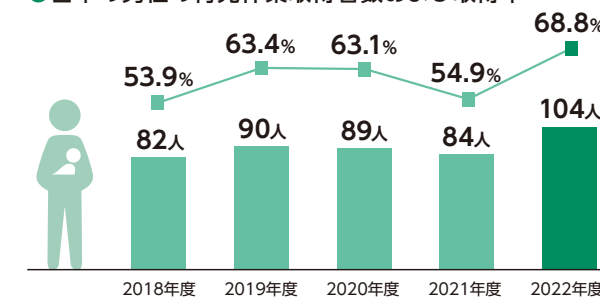
～女性活躍推進への取り組み～

テルモでは、DE&Iの実現の一つとして「女性活躍」を推進しています。日本の女性管理職比率は9.6%(2023年3月末)ですが、海外も含めたグループ全体の女性管理職比率は約30%を占めています。今後さらに新たな価値を生み出していくためには、意思決定層の場に女性を含めた多様な人財(リーダー)を増やしていくことが、経営戦略の上でも必要不可欠です。その実現に向け、特に日本においては、具体的な数値目標を設定し、経営トップ自らが牽引し、女性の能力を最大限に発揮できる環境づくりを推進しています。また、キャリアやライフイベントに対する課題や情報などを意見交換できるアソシエイトのネットワークの構築を積極的に進めています。

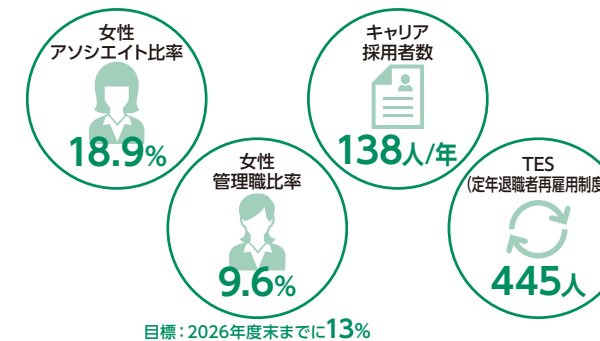
～男性の育児休業取得を推進～

テルモでは、男性アソシエイトに育児休業の取得を奨励しています。テルモで育児休業を取得する男性アソシエイトの数は増加傾向にあり、2022年度は104人、取得率は68.8%になりました。実際に育児休業を取得した方からは、「配偶者の心身のサポートができた」、「家族の絆や連帯感が深まった」などの声が上がっています。育児休業の取得推進にあたっては、当事者が希望期間で育児休業を取得できる環境づくりと、上司・職場の理解が大切だと考えます。育児休業を取得した男性アソシエイトには、その期間で得た経験を通じて、職場で多様な働き方をするアソシエイトの良き理解者となることで、誰もが十分に力を発揮できる環境づくりが促進されることを期待しています。

●日本の男性の育児休業取得者数および取得率



●日本のアソシエイトデータ (2023年3月末)



テルモはこれからも、DE&Iの実践によって、アソシエイトが企業と共に成長し続ける組織づくりを目指し、新たな価値を創出し、「医療の進化」と「患者さんのQOL」に貢献してまいります。

FINANCIAL INFORMATION

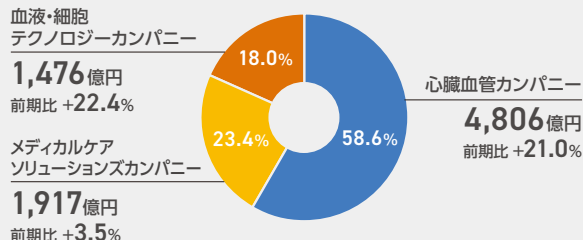
業績報告

2023年3月期末の業績報告

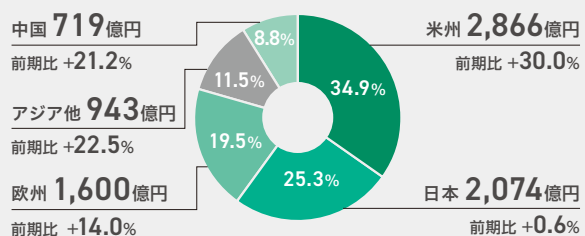
売上収益 **8,202** 億円 前期比 **+16.6%**

営業利益 **1,173** 億円 前期比 **+1.2%**

カンパニー別売上収益

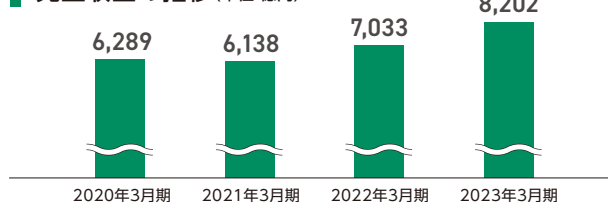


地域別売上収益

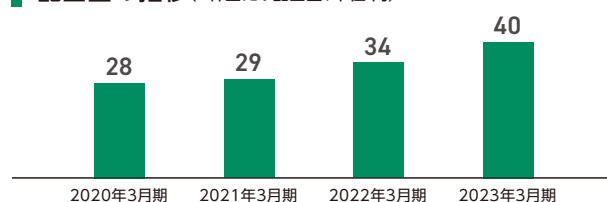


※構成比率は小数点第2位以下を四捨五入しており、合計が100%とならない場合があります。

売上収益の推移 (単位:億円)



配当金の推移 (1株当たり配当金、単位:円)



売上収益は、前期比16.6%増の8,202億円となりました。日本は、COVID-19の影響を受けて医療需要の回復が遅れたものの、製薬企業との提携ビジネスであるファーマシューティカルソリューション事業や、血管事業の新製品売上が好調に推移し、前期比0.6%の増収となりました。海外は、中国等においてCOVID-19の局地的な影響はあったものの、全体では医療需要の回復が進み、血管事業を中心に全カンパニーが二桁伸長した結果、前期比23.3%の増収となりました。

当社グループは、高い利益性と持続的な成長を確保するため、利益の再投資を適正かつ積極的に進め、企業価値の一層の増大を図ってまいります。これは、株主の皆様利益に合うものであり、投資価値の増大につながるものと考えております。株主の皆様への利益配分につきましては、安定した増配に加えて、自己株式取得による還元も活用し、総還元性向として50%水準を目指してまいります。

2024年3月期業績見通し

売上収益 **8,540** 億円

営業利益 **1,325** 億円

年間配当金 (予想) **44** 円

株主総会決議内容

2023年6月27日に開催された当社第108期定時株主総会において、以下のとおり決議されました。

第1号議案 剰余金処分の件

本件は、原案どおり承認可決され、期末配当金は、1株につき21円(中間配当金19円と合わせ、年40円)と決定いたしました。

第2号議案 定款一部変更の件

本件は、原案どおり承認可決されました。
感染症拡大または天災地変の発生等に限定して、場所の定めのない株主総会(いわゆるバーチャルオンリー株主総会)を開催できるよう、当社定款について所要の変更を行いました。

第3号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く)8名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、高木俊明、佐藤慎次郎、羽田野彰士、広瀬和紀、黒田由貴子、西秀訓および小澤敬也の7氏が再選され、国元規正氏が新たに選任されました。なお、黒田由貴子、西秀訓および小澤敬也の3氏は、社外取締役であります。

第4号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、柴崎崇紀、中村雅一および宇野総一郎の3氏が再選されました。なお、中村雅一、宇野総一郎の両氏は、社外取締役であります。

第5号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、坂口公一氏が選任されました。なお、坂口公一氏は、補欠の社外取締役であります。

期末配当金のお支払いについて

第108期期末配当金は、同封の「期末配当金領収証」によりお支払いいたしますので、払渡期間中(2023年6月28日~2023年7月31日)にお近くのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。また、口座振込ご指定の方には、「期末配当金計算書」および「配当金振込先ご確認」のご案内を同封いたしましたので、ご確認ください。

株主優待のご案内

ご希望者全員に「2024年テルモカレンダー」をお送りします

同封はがき、または下記ウェブサイトからご応募いただいたすべての株主様に、「2024年テルモカレンダー」をお送りします。(発送は2023年12月頃を予定)。やさしい色彩と洗練されたタッチの作品が国内外で人気のイラストレーター木内達朗氏を起用した四季の風景のカレンダーです。



※写真は2023年版です

応募サイトURL:

<https://www.enq-plus.com/enq/terumocal2024>

お問い合わせ 0120-993-637(平日10~17時)



株式についてのご案内

- ◎事業年度 4月1日から3月31日まで
- ◎株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- ◎同連絡先(郵便物送付・電話照会)
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 電話:0120-232-711(フリーダイヤル)
- ◎単元株式数 100株

テルモ株式会社Twitter公式アカウント

テルモの最新情報を発信しています。
ぜひご覧ください。



@terumo_jp



テルモは、第一次世界大戦の影響で輸入が途絶えた体温計を国産化するために、北里柴三郎博士をはじめとする医師らが発起人となり、1921年に設立されました。

北里柴三郎博士(資料提供:学校法人北里研究所)

テルモ株式会社(証券コード:4543)

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷二丁目44番1号 電話:03-3374-8111(代表)

<https://www.terumo.co.jp>

